



高齢になっても
どんな障がいをあっても
自分が住みなれた地域の中で
自分らしく生きていきたい
それはみんなの願いです

NPO 法人福祉住環境ネットワークこうち
(愛称ふくねこ)は、その想いをつないで、
家だけでなく、街も、誰もが利用しやすい
環境に整備されることを目指してこれから
も活動していきます



~利用内容~

●貸出

月曜～日曜 9:30～17:00

車椅子・ベビーカー・シルバーカー・JINRIKI

中心商店街エリア内および当日:無料

中心商店街エリア外または複数日:有料

●移動サポート

木曜～日曜 11:00～16:00

ボランティアによる付き添い 1回 500円

ご予約は **1週間前**までに

●スペースの貸出し(1階奥)

勉強会や集まりにご利用ください(要予約・有料)

●ボランティア募集中

初めての方も手引きの方法をレクチャー致します

利用予約・お問合せ先

☎:080-3923-2939

✉:townmobility-kochi@fukuneko-k.k.com

まずはお問合せ下さい。

住所:高知市はりまや町1丁目1-24
(京町商店街アーケード内)



パンフレット作成 2023.12



高知市中心商店街常設拠点

タウンモビリティステーション

ふくねこ



運営主体
NPO 法人福祉住環境ネットワークこうち



タウン=まち モビリティ=移動性

障害を持っても高齢になっても、誰もが出掛けたいと望む場所に出掛けられる、移動の権利を保障する仕組みです。

高知型タウンモビリティ

●高知でのタウンモビリティのきっかけ

2010 年の高知県・高知県社協主催の「ひとまちふれあいフェスタ」の中で、中心商店街に日頃出かける機会の少ない障害者、高齢者の方に出掛けてきて街を楽しんでもらおう！という取組みから、当 NPO 法人が高知での「タウンモビリティ」実施を提案したのがきっかけです。

●高知でのタウンモビリティの始まり

先進的な福岡県久留米市の取り組みをモデルとして学ばせて頂き、2011 年に高知で初めて実施したのが始まりです。

●毎月1回の継続実施が実現

2011～2012 年に計4回の試験実施を経て、2013年1月から継続実施が始まり、それを機に「タウンモビリティ運営委員会」を発足し、当 NPO 法人、行政、専門職、商店街組合、障害当事者など、様々な立場の方が委員として参加し運営を行っています。

●常設化が実現！

高知県・高知市の助成を受け、2015 年4月より毎週木曜～日曜にステーションを開け、タウンモビリティだけでなく、観光や街の情報ステーションとしての役割も担っています。



●まちへ出かける拠点

- ・商店街の移動やお買い物などのサポート
- ・買い物弱者が気軽に立ち寄れる
- ・セニアカーの充電や横になれるスペースの提供



- ・車いす、シルバーカー、ベビーカー、楽々カート、JINRIKI の貸出



●商店街の情報提供

- ・商店街のバリアフリートイレマップ作成



- ・バリアフリーに配慮したお店や観光客向けおまち情報の提供

●教育・他団体との連携

- ・ボランティア参加者や学校・団体単位で実習を交えたセミナーの場



- ・他団体が相談窓口や機器展示の場として利用
例:出張エステ 足の相談室

いたわり住宅・空き家利活用相談会 など



～ステーションの役割～



●生きがい・やりがいが生まれる

- ・障害当事者が役割を持ち、生きがいが生まれる
- ・やりたいことにチャレンジできる・目標を作る
- ・ピアソーターとして障害への理解を広める



脳卒中発症 Kさん
先生としてここで教室を開き、今では大好きな沖縄の島ぞうりアートを高知で広めています！



脊椎損傷 Iさん
付添ボランティアに参加する大学生と一緒に室戸まで走った経験から、各地の車いすマラソンに参加しています！

●交流する・集う

無料開催:童謡教室(月 1 回) ふくねこライブ(偶数月)

まちのコミュニティカフェ「ふくねこ」(月 2 回)

フォト同好会

有料開催:手話カフェ 島ぞうり彫り彫り体験

若年性認知症の集い「高知おれんじドア」など

(2020 年 12 月現在)



開催の様子 左)童謡教室 右)手話カフェ